

2019年5月22日

映像監視システム「ArgosView」、 長期録画バックアップのリストア時間を最大約83%短縮 膨大な映像データからも対象映像をスピーディに特定可能に

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社の連結子会社であるパナソニック ネットソリューションズ株式会社(以下、パナソニックNETS)は、映像監視システム「ArgosView(アルゴスビュー)」の長期録画バックアップのリストア(復旧)時間を最大約83%短縮する新方式を開発しました。これにより、膨大な映像データからも対象映像をスピーディに特定できるようになります。

開発の背景

長期録画バックアップのリストアに時間がかかる

工場の異物混入対策や、金融機関、データセンターのセキュリティ対策では長期にわたる映像データの保管が必要とされます。パナソニックNETSは以前から、長期録画バックアップの低コスト化、省スペース化対策として、LTOテープを活用した長期録画ソリューションを展開していました。しかし、LTOテープのリストアを行う際には、各映像データの先頭に保存されているインデックスデータを全て読み込みながら対象映像を検索する必要がありました。

特長

インデックスデータを作成・参照することでリストア時間を大幅短縮

今回の新方式では、各映像データの先頭に保存されているインデックスデータを、録画用HDDまたはバックアップ用LTOテープの最後尾にもまとめて保存しました。リストア時には、まずそのデータを参照し、保存場所を特定してからリストアすることで、リストア時間を大幅に短縮いたしました。

結果として、例えばテープの中間部に保存されているカメラ1台分(7.8GB)の映像データをリストアする時間が、従来は約120分必要でしたが、新方式では約10分を下回る[※]など、リストア時間を大幅に短縮することが可能になりました。

※ データ格納位置やリストアするデータ容量により、短縮される時間が異なります。

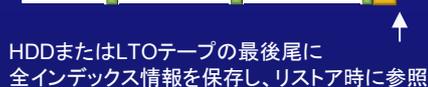
※ 今回のArgosViewバージョンアップ以前にバックアップ録画を行ったLTOテープのリストアは対象外です。

インデックスデータの格納イメージ

従来方式



新方式



リストア時間の短縮イメージ

従来方式

↓ 12分の1に短縮

新方式

約10分 約83% DOWN!!

将来

長期録画を改良・促進して映像活用の拡大を実現

現在は、主に品質維持や強固なセキュリティ対策が必要とされる工場、金融機関、データセンターでの長期録画バックアップの利用が主流ですが、今後はさらに改善・改良を重ねることで、長期かつ大容量の映像データ保管を促進し、あらゆるシーンでの映像活用の実現を目指します。

■パナソニック ネットソリューションズについて

パナソニック ネットソリューションズは、ワークフロー事業と映像監視事業を柱とし、業務効率化・業務改善や安全・安心の実現に総合的に取り組んでいます。20年以上の豊富な経験・ノウハウを活かして開発したワークフローパッケージ「MAJOR FLOW Z」は、多くのお客さまから高い支持をいただいています。

また、映像監視システム「ArgosView」とクラウド録画サービス「Ciero」をコア技術とした映像ソリューションは、国内VMS市場においてシェアNo.1※を獲得しており、ご好評いただいています。

社名 : パナソニック ネットソリューションズ株式会社
代表者 : 代表取締役社長 前川 満
本社 : 〒108-0073 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル3F
設立 : 2008年1月30日
資本金 : 7,000万円
URL : <http://pnets.panasonic.co.jp/>

※富士経済「2017、2018 セキュリティ関連市場の将来展望」

以 上

※本文に記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ先】

<報道関係者様>

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社 営業統括部 企画管理チーム 山田 弥季
TEL:03-5715-5470 FAX:03-5715-5471 E-mail:press-pisc@ml.jp.panasonic.com

<お客様>

パナソニック ネットソリューションズ株式会社 企画部 山崎
TEL:06-6233-2626 FAX:06-6233-2638